

NPO法人 有明海再生機構
Ariake Bay Rehabilitation Organization

平成24年度理事会・通常総会レポート

5月26日(土)に佐賀大学において、平成24年度理事会及び通常総会を開催しました。第1号議案平成23年度事業報告及び収支決算の承認に関する件、第2号

議案平成24年度事業計画及び収支予算の決定に関する件、第3号議案役員の選任に関する件、第4号議案組織体制に関する件について、それぞれ審議しました。

また、役員においては、それぞれ重任され、任期は平成26年6月30日までとなります。

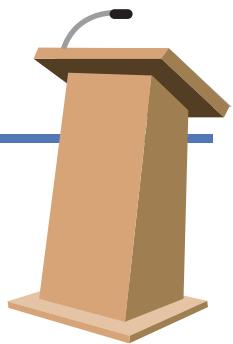


理事会・総会の様子

■ 平成24年度理事会／役員

理事長	荒牧 軍治	〈佐賀大学 名誉教授〉	名誉顧問	ウイリアム・コスグローブ	〈元 世界水会議会長〉
副理事長	松岡 敷充	〈長崎大学 環東シナ海海洋環境資源研究センター 教授〉	顧 問	古川 康	〈佐賀県 知事〉
副理事長	小松 利光	〈九州大学 名誉教授〉	顧 問	川上 義幸	〈佐賀大学 監事〉
副理事長	大串 浩一郎	〈佐賀大学 大学院工学系研究院 教授〉	顧 問	尾田 榮章	〈元建設省 河川局長〉
副理事長	堤 裕昭	〈熊本県立大学 環境共生学部 教授〉	顧 問	楠田 哲也	〈北九州市立大学 国際環境工学部 教授〉
理 事	中田 英昭	〈長崎大学 大学院水産・環境科学統合研究科長〉	顧 問	大和田 紘一	〈東京大学 名誉教授〉
理 事	瀬口 昌洋	〈佐賀大学 副学長〉	顧 問	中野 啓	〈前 有明海再生機構事務局長〉

● 平成23年度成果報告会レポート



2012年 5月26日

1
第 部

「有明海にしかいないエツの話」

講師

高知大学
木下 泉 教授

5月26日（土）に、佐賀大学にて平成23年度成果報告会を行いました。

第一部は、高知大学の木下泉教授をお招きし、「有明海にしかいないエツの話」をご講演いただきました。



エツは、日本では有明海にのみ生息する有明海の固有種で、通常は海域で生活し、産卵のときに川にやってくるという遡上回遊魚で、卵は分離沈性卵であると考えられてきました。しかし、昨今、諫早湾調整池内で親魚、稚魚の生息情報があつたことから、科学的に明らかにするために先生は研究を実施され、結果的に 1000 m²あたり、多いところで1万以上のエツの卵が観測されました。そして、産まれた仔稚魚は発育しながら調整池全体に分散していることがわかりました。

しかし 30 年前の諫早湾ではエツ

は獲れていなかったことがわかつてゐるため、現在調整池内に生息するエツがどこからやってきたのかは不明とのことでした。

以前から考えられてきた遡上回遊魚で分離沈性卵である、ということも、実際は少なくとも調整池内では遡上回遊魚ではなく、卵は浮性卵であり、発生に伴い沈降しているのではないかと考えられるとのことでした。

ワラスボの仔魚も確認されており、汽水域での特異な再生産が諫早湾調整池内で起こっていると考えられるということでした。

2012年 5月26日

2
第 部

「意見交換会」

座長

荒牧 軍治 理事長
小松 利光 副理事長
川上 義幸 顧問

コメンテーター

第二部は「意見交換会」とし、初めに当機構の荒牧軍治理事長より「開門調査のあり方についての検討中間まとめ（案）」、続いて小松利光副理事長より「有明海の環境改善に向けての取りまとめ」を、これまで開門調査総合検討部会で議論してきた内容をもとに、開門調査に取

り組む基本理念、調査の目的、目標像、開門方法、5年間の開門終了後の姿、そして有明海再生への道筋、について発表していただきました。

後半は「開門調査」を軸に会場の皆様からのご質問、ご意見をうかがいながら意見交換を行いました。



24年度事業計画

時期(予定)	事業名	内 容
5月	理事会・総会	事業計画・予算決算の決議
5月	成果報告会	●講演、意見交換会 ●ポスターセッションの開催
6月～ 通年	有明海再生に関する 研究等助成事業 有明海の再生に 向けた課題の検討	●研究者や企業が実施する有明海再生に向けた研究費の一部を助成 助成件数 1～2件 募集対象者:45歳未満の正会員及び支援会員 ●有明海再生に向けた短期的課題、中長期的課題の検討 1. 研究企画委員会の開催 2. 部会の開催 ・開門調査総合検討部会 ・再生道筋検討部会 3. 勉強会の開催 ・生物・生産勉強会 ●佐賀大学へ研究委託
	講演会等の開催	●有明海講座:年1回／対象:会員・一般 ●公開部会／対象:会員
通年	広報活動	ニュースレター、活動年報、講演録、HP等による広報活動
通年	コンサルティング事業	
通年	有明海データベース	

◆平成23年度 有明海に係る研究等助成事業報告

九州大学 田井 明 助教
諫早湾干拓事業による潮汐振幅と河川水の 挙動の変化に関する研究
熊本県立大学 小森田 智大 助教
有明海奥部海域の水柱で生じる窒素除去過程 の定量的評価



※事業報告については、当機構ホームページ、または 冊子「平成23年度 年報」をご覧ください。

支援会員活動紹介

第 16号

(株)サン海苔様



(株)サン海苔 おすすめ贈答品

生産者から消費者へ安心・安全なおいしい海苔をお届けすることで食育推進・地産地消に貢献してまいります。

NPO法人有明海再生機構の有明海再生に向けてのご尽力に敬意を評します。

佐賀県有明海に於ける主幹漁業でありますノリ養殖業の平成23年度漁期も終了し、乾海苔生産量・生産金額は9年連続日本一となり、佐賀県に籍を置く弊社としても誇らしい限りです。

(株)サン海苔は「SAGA: ARIAKA:NORI」「佐賀有明海苔」の頭文字から名付けられております。(株)サン海苔は、昭和39年5月に佐賀有明地区の漁業者が設立した会社であります。消費者に安くて美味しい海苔を提供できればと、自前の加工施設をつくり、

生産、加工、販売を行う一貫体制をつくりたいとの発想から生まれた会社と言えます。

(株)サン海苔では、高品質の佐賀海苔を清潔な工場で加工し、一般家庭から贈答品まで、また、寿司専門店等の業務用までお客様のあらゆるご要望に対応できる体制づくりに万全を期しております。創業以来のお客様からいただいた信頼と期待にお答えしていく様、安全、安心、美味しさを求める努力してまいります。

支援会員募集 ご案内

*詳しくは事務局までお問い合わせください。

有明海再生機構では、当機構の趣旨に御賛同いただき、活動を支援してくださる支援会員(企業・団体・個人)を募集しております。

年会費

- 企業、団体…一口 5万円
- 個人 …一口 1万円

<お問い合わせ先> 佐賀市光2丁目2-1 (0952)24-6191(代) <http://www.sannnori.com>



冊子 有明海再生機構の中間まとめ

有明海環境異変を科学技術はどこまで解明したか

を発刊しました。

- 第Ⅰ部 有明海における漁業・生物の現況
- 第Ⅱ部 有明海異変の要因の解明
- 第Ⅲ部 シミュレーションモデルを用いた再生策の効果判定

有明海異変以後の10年についてまとめています。
無料で配布しておりますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。